

## (9月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
なし類		11,261	103	13,396	280	98	236	211	1.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸水は関東山地から福島を中心とする東北産に移行。</li> <li>・豊水は茨城、千葉、栃木が主力となる。今年は昨年のような気象災害もなく、順調に経過。</li> <li>・なし類は全体的に着果が良く、不作だった前年を上回る見込み。</li> <li>・価格は、果実全般に動きが鈍く前年を下回る見込み。</li> </ul>
りんご類		6,162	110	6,243	255	93	256	909	14.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主力品種つがるは残暑の厳しかった前年に比べ生産環境は良く、入荷量は前年を上回る見込み。</li> <li>・青森産は心配された雹害の影響も少なく出荷は前年を上回る見込み。</li> <li>・長野産は8月のウエイトを高められているため、9月の入荷は前半が中心となる。</li> <li>・価格については、小玉果の割合も多く価格は前年を下回る見込み。</li> </ul>
みかん類		4,487	95	4,788	338	104	350	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎を中心に静岡、長崎、熊本等から入荷。</li> <li>・前年は着果、肥大とも良く入荷量は多かったが、今年は平年並みの入荷見込み。主産地の宮崎県も前年をやや下回る見込み。</li> <li>・価格についてはハウスみかんの切り上がりが早まる見込みから、前年を上回る見込み。</li> </ul>
ぶどう類		4,301	95	4,377	617	106	564	527	12.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巨峰は長野産露地ものが上旬から入荷。生品率は前年より低く入荷量も前年を下回る見込み。</li> <li>・ピオーネは山梨、岡山を中心に入荷。山梨産は開花時期の天候不良から着果量は前年を下回る見込み。</li> <li>・価格は入荷減を反映し、前年を上回る見込み。</li> </ul>
かき類		1,323	100	2,200	401	97	338	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利根早生中心の入荷。主産地の和歌山産は前年の高温の影響により樹勢が弱く作柄は不作だった前年並み。奈良産はハウスものが中旬で終了し、下旬から露地へと作型が変わる。露地は小玉傾向。</li> <li>・価格は高値だった前年を下回る見込み。</li> </ul>
くり		929	110	975	340	77	363	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城産中心の入荷。茨城産は着球数多く小玉傾向であるが、作柄は良く、前年を上回る見込み。</li> <li>・業務需要もあまり見込めず価格は前年を下回る見込み。</li> </ul>